令和五年度 京都府公立高等学校入学者選抜

中期選抜学力検査

玉

1

語

解答上の注意

- 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 問題は、この冊子の中の1~4ページにあります。

3 2

- 答案用紙には、受付番号を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある【答の番号】と、答案用紙の 答案用紙の答の欄に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 6 【答の番号】とが一致するように注意しなさい。

答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。

- 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。
- 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解 答 例

1け。答の番号1 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で

書け。

二 次の問い(1・2)に答えよ。

(1) 「京」の総画数として最も適当なも

 (ア) 7画 (イ) 8画 (ウ) 9画

 のを、次の (ア)~(ウ) から一つ選べ。

(2) 7 ものから順に並べかえ、記号で書け。 次の (ア)~(ウ) の数を値の小さい 7答の番号 【 3 】 র 5 <u>つ</u>

			HH
(2)	(1)	_	問題番号
[3]	[2]	[1]	番答 号の
(ウ)→(イ)→(ア	ア	zΚ	答
3	1	曜	の
Ŷ	ゥ	日	欄
[3]	[2]	[1]	
			採点欄

	検		査									
	1											
	受	付	番	号								
1	2	3	4	5	6							
	得			点								

このページに問題は印刷されていません

次の文章は、「俊頼髄脳」 の 一節である。注を参考にしてこれを読み、 問い

(3)

 $\widehat{\Xi}$

<u>う</u>

7

貫之に神が乗り移っている夢を見ている状態

託宣をする神が禰宜に乗り移っている状態

(エ)から一つ選べ。答の番号3が、「禰宜」はどのような状態から覚めたのか、最も適当なものを、次の(ア)~

本文中の 覚めにけりとぞ とは、「覚めたということだ」という意味である

(ウ) 貫之が鳥居を見つけた。 (ア) 貫之が和歌を詠んだ。

合ったものの一部である。これを読み、後の問い〇・〇に答えよ。

次の会話文は、光太さんと奈月さんが本文を学習した後、本文について話し

(エ) 蟻通の神が祭られていると貫之が知った。

(イ) 倒れていた馬が生き返った。

次の(ア)~(エ) は本文中のできごとについて述べたものである。(ア)~(エ)

馬が倒れたことをとがめる神が禰宜に乗り移っている状態

馬に乗って神社の前を通った貫之の夢を見ている状態

(1) ~ (5)に答えよ。

この部分は著作権の関係により

掲載しておりません。

*蟻通…大阪府にある蟻 通 神社。 *貫之…紀貫之。平安前期の歌人。

*え知らで…気づくことができずに。

*和泉の国…現在の大阪府南部 明神…神の敬称。

*物とがめいみじくせさせ給ふ…とがめることをひどくしなさる。

*すべからくは…当然。

*しかはあれど…そうではあるが。

*御託宣…お告げ。 *とばかりある程に…しばらくの間に。 *さだめて…必ず。

本文中の にはかに を、すべて**現代仮名遣い**に直して**、平仮名**で書け。

(1)

(イ) 晴れならずといふことぞなき

(ウ) いづれの年よりか

(エ) ひとへに風の前の塵に同じ

るものがある。 本文中の二重傍線部(==)で示されたもののうち、主語が一つだけ他と異なり、いてする4、

7 見れば

1 問へば

<u> </u> いへり

 Ξ おしつけて (「新編日本古典文学全集」による)

光	奈	光
太	月	太
現技法を用いて巧みに和歌を詠めるほど、和歌の実力があったんだね。なるほど。この和歌は、[B]だよね。貫之には、掛詞という表は、神がいると気づかなかった貫之のうかつさを表現しているんだね。	ほし」は、「神蟻通」と「神有り遠し」の掛詞だそうだよ。「遠し」は、「神蟻通」と「神有り遠し」の掛詞だそうだよ。「遠し」とはうかつにも思わなかった」というような内容だよ。「ありとほし」とは和歌を詠んだけれど、その和歌はどのような内容だったかな。之は和歌を詠んだけれど、その和歌はどのような内容だったかな。	本文から、神が貫之の無礼な行いを 一 [A] 」と考えたのは、貫

会話文中の 会話文中の A に入る最も適当な表現を、本文中から十字で抜き出 文中の B に入る最も適当な表現を、次の (ア)~(エ) から一つ。答の番号5

(ア) 貫之が自らの行いに対する罰が何かを尋ねたので、卓越した和歌の力**【** 示すことだと神が告げたところ、貫之が驚きためらいつつ詠んだもの

(ウ) 貫之が和歌を得意としていないと思っていた神が、あえて和歌を詠むこ とを求めたところ、貫之が神の予想に反して上手に詠んだもの 詠むように神が告げたところ、貫之が即座に考えて詠んだもの 貫之が和歌の達人として神に認めてもらおうとしたので、試しに和歌を

とを求めたところ、貫之がすぐに行動を起こして詠んだもの 貫之が和歌に熟達していることを知っていた神が、その腕前を見せるこ

【裏へつづく】

(1) ~ (9) は、各段落の番号を示したものである。)次の文章を読み、問い(1) ~ (1)に答えよ。(28点)

1 これまで私は、古代から現代までのちがいも問題にせず、物語について論じて、これまで私は、古代から現代までのちがいも問題にせず、物語について話そうこれまで私は、古代から現代までのちがいも問題にせず、物語について話そうる必要が出てきたのです。それまでのお話は、それをつくる人の個人的な歴史を直接に反映するものではありませんでしたが、近代における物語の役割について話そうと思います。というのも、近代において社会のあり方が大きく変わり、それに応じて、新たな物語のではありませんでしたが、近代になると、人は自分のことを語接に反映するものではありませんでしたが、近代になると、人は自分のことを語接に反映するものではありませんでしたが、近代になると、人は自分のことを語接に反映するものではありませんでしたが、近代になると、人は自分のことを語をに反映するものではありませんでしたが、近代になると、人は自分のことを語をに反映するものではありませんでしたが、近代になると、人は自分のことを語をに反映するものではありませんでしたが、近代になると、人は自分のことを語をに反映するものではありませんでしたが、近代になると、人は自分のことを語をいると、人は自分のことを語をいると、人は自分のことを語をいると、人は自分のことを語をいると、人は自分のことを語を言いましていると、人は自分のことを語を言います。

2 この変化は、日本文学を例にとればよくわかります。日本の近代文学には、そこの変化は、日本文学を例にとればよくわかります。日本の近代文学には、そこの変化は、日本文学を例にとればよくわかります。日本の近代文学には、そ

4 しかし、それだけではありません。思うに、近代という時代は人間社会の根本ら」する道がひらけます。「私小説」隆盛の背景には、それがあったと思います。方が強くなったと思われます。そうなると、作家が自分の生の真実を正直に「告うことがあります。話は「リアル」(=現実的)でないといけない、そういう考えるとのとつには、近代は科学の時代で、うそっぽい話はもう流行らなくなったとい

でちっこか。 のも、そうした社会変化のせいだと思います。では、その変化とはどういうもののも、そうした社会変化のせいだと思います。では、その変化とはどういうものを得なかったのです。〈2〉日本に「私小説」のような個人史の物語が出てきた的な構造を変えてしまったのであり、それによって、文学の性シツも変わらざる しかし、それだけではありません。思うに、近代という時代は人間社会の根本 -

5 簡単に言えば、それまでの社会では誰しもが生まれた時からその社会における 自身の地位を与えられており、それを当たり前のこととして受けとめ、自身の社会における位置づけなど考える必要がないほどに安定した構造を持っていたので ことになったのです。この変化によって、「A」から解放されて自由になった した地位を失い、そのかわりに自分で好きなように地位を獲得したらいいという ことになったのであるという、それまでの社会では誰しもが生まれた時からその社会における 簡単に言えば、それまでの社会では誰しもが生まれた時からその社会における

と思われます。 べてを考え直す必要が出て来たそのことが、個人史物語の発達をうながしたのだい苦労を背負うことになりました。[B] としての意識に目覚め、そこからす

7 6 うか。ところが、実は、幼児からの心の発達を研究する発達心理学では、こうし おおいに役立つというのです。〈4〉 た個人史の語りがきわめて重視されています。個人史を語ることは、人格形成に ては自分というものを確立できないと作家たちが感じたからにほかならない。〈3〉 勇気を得たのだろうと思われます。「私小説」 明確になり、近代という不安定このうえない時代を生きていくにあたってある種の 分もまた「告白」をしてみて、自分という存在がより鮮明になり、 ようとするのに役立つでしょう。日本人の場合、最初はヨーロッパ文学における 人史を語るなど自己満足のすさびにすぎないと思う人は、多いのではないでしょ では、そうした個人史の物語を、文学者でない人はどう見ているでしょう。個 たしかに、個人史物語は、それを生み出す人にとって、個人として己を確立し [「]告白」物語に目をひらかされ、それに追随しただけだったかもしれませんが、自 h_____ 王道となったというのも、真剣に自己を掘り下げ、それを正直に言葉にしなく 」が日本近代文学の常道となった、 自他の区別が

8 たとえば、現代の発達心理学者のひとり、*** ものに目覚める契機となるというのです。 ものに目覚める契機となるというのです。 自分に起こる出来事を言葉で物語るとは、まさに個人史を語ることにほかならず、個人史物語は自己を出来事を言葉で物語ることが大事であると言っています。自分に起こる出来事を出来事を言葉で物語るとは、まさに個人史を語ることにほかならず、個人史物語は自己を出来事をおいます。

2

八嶋 仁 「メタファー思考は科学の母」による……一部省略がある)

【下へつづく】

*動顚…「動転」と同じ。	*すさび…娯楽。	
と同じ。	*キャサリン・ネルソン…アメリカの発達心理学者。	

(5)

入るか、最も適当な箇所を示す番号を一つ選べ。

.....答の番号【11】

彼ら

は血のにじむ努力をしたのです。

だからこそ、ものを書いて商売をするといった発想を度外視してまで、

本文からは次の一文が抜けている。この一文は本文中の〈1〉~〈4〉のどこに

		(1)
ָ ל	I 群	本
(カ)~(ケ) から一つ選べ	I群(ア)~(エ) から一つ選べ。また	本文中の
か	<u>></u>	永遠
ら 一	٠	遠
つ選べ	から	の熟
ò	一 つ っ	が語 の
:	悪べ。	構成
	また	%を説
	•	明し
	永遠	たも
	と	の熟語の構成を説明したものとして最も適当なものを、
	回じ歴	して目
	伸成の	取も対
:	の熟証	趙当な
	而を、	なもの
の番	後の	を、
…答の番号7】	永遠 と同じ構成の熟語を、後のⅡ群	、次の
(6)	

I 群

7 上の漢字が下の漢字を修飾している。

1 上の漢字と下の漢字の意味が対になっている。

<u> </u> 上の漢字と下の漢字が似た意味を持っている。

 Ξ 上の漢字と下の漢字が主語・述語の関係になっている。

Ⅱ 群

(カ)

雷鳴

(+

速報

2

利害

ر

衣服

(2) (エ)から一つ選べ。また、本文中の 追随した の意味として最も適当なもの 本文中の 念頭に置いて の意味として最も適当なものを、次のⅠ群 7

I 群 を、後の**■群(カ)~(ケ)** から一つ選べ。 7 最初から説明して 断続的に準備して 1 ------答の番号 8 常に意識して

後からついて行った 大いに感動した (‡ Ξ <u>5</u> 長時間調べて たちまち夢中になった おのずと張り合った

Ⅱ群

2 **カ**

(3) 本文中の c 特[殊[の読みを**平仮名**で書け。答の番号9】

(4)(エ) から一つ選べ。 自立語と付属語に分類して示したものとして最も適当なものを、後の (ア)~ 本文中の 例にとればよくわかりますd_ を単語に分け、次の**〈例〉**にならって答の番号10】

日は昇る **答** 自立語+付属語+自立語

7 自立語+自立語+付属語+付属語+自立語+付属語

3 <u> </u> 自立語+付属語 自立語+付属語 +自立語+付属語+自立語+自立語+付属語 +自立語+付属語+自立語+自立語

 Ξ 自立語+付属語+自立語+付属語+付属語+自立語+自立語

> 本文中の それ の指す内容として最も適当なものを、 次の (ア)~(エ) から

ことこより、うこっぱゝらゞこう(ア) 近代は科学の時代で、作家が自分の生の真実を「告白」する道がひらけた(ア) 近代は科学の時代で、作家が自分の生の真実を「告白」する道がひらけた「・・ゞ・ ことにより、うそっぽい話が流行しなくなったこと。

(イ) 近代は科学の時代で、「私小説」が文学の常道となり、 奇想天外でないといけないという考え方が広まったこと。 話は面白おかしく

<u> </u> 分の生の真実を「告白」することが文学の常道にまでなったこと。 近代は科学の時代で、 いかにも面白く奇抜な小説に人々が飽き、 作家が自

 $\widehat{\exists}$ り、 近代は科学の時代で、 作家が自分の生の真実を「告白」する道がひらけたこと。 話は「リアル」でないといけないという風潮が高ま

(7) (ア)~(エ)から一つ選べ。また、 本文中の だけ は助詞であるが、その種類として最も適当なものを、 だけ と同じ種類の助詞が波線部 (~~) i 次のI群

用いられているものはどれか、後の■群 (カ)~(ケ)から一つ選べ。

耳群 I 群 7 **b** 目的地に着いたばかりだ。 格助詞答の番号【13】 1 副助詞 <u>ウ</u> (+ 接続助詞 会えてうれしいよ。 Ξ 終助詞

(8) 本文中の 性 シッ の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。

Ź

メモをしつつ話を聞く。

5

今日は昨日より寒い。

次の(ア)~(エ)から一つ選べ。 本文中の A ・ B に入る表現の組み合わせとして最も適当なものを、 :答の番号 【15】 ·答の番号 【14】

7 個人は個人 В 作家が作家

個人は社会 В 個人が個人

3

 Ξ <u>ラ</u> 社会は個人 作家は社会 В В 作家が個人 社会が作家

【裏へつづく】

	について考えようか。	潤一 そうだね。「私小説」は、 Z ことによって生み出されたのだと個人史物語における個人にも同じようなことが言えるんだね。	ほど。たから	関わりのなかで自己の立ち位置を定め、【X】を自覚するきっかけえると、個人史を語ることが、自己をゆるぎないものとし、他者との「ある種の勇気」を得ることができたのは、発達心理学の見解から考えったね。日本人が、近代という不安定な時代を生きていくうえで	実沙 本文では、日本人が「私小説」という個人史物語を書くようになっ	部である。これを読み、下段の問い ① ~ @ に答えよ。をすることになった。次の会話文は、実沙さんと潤一さんが話し合ったものの一(1) 実沙さんと潤一さんのクラスでは、本文を学習した後、本文に関連するスピーチ)	立場で主張をまとめている。(エ) 9 段落では、7・8 段落で述べた内容に言及しつつ、それとは反対のている。	(ウ) [6]段落では、[4]・[5]段落で示した内容を認めたうえで、論を発展させ張を提示している。	(イ) 4・5 段落では、2・3 段落で述べた内容を別の角度から捉え、主明している。(ア) 2・3 段落では、1 段落で提示した話題について、具体例を挙げて説	(ア)~(エ)から一つ選べ。答の番号10 本文における段落どうしの関係を説明した文として適当でないものを、次の
■群 (サ) 稈口で話さずに、間の取り方を工夫する ■群 (サ) 調子を変えずに、話す速さを一定にする	■群 (キ) 豊富な話題を取り入れ、専門的な語を多用した複雑な■群 (カ) 話の順序を工夫して、考えの根拠を提示してわかりやすい	「イ) 自分だけの関心に頼らず、話の目的や聞き手の関心にも合わせて「芹) 聞き手の関心よりも、具体的な体験や自分の関心を優先して	た、スピーチを発表する際は、[C]とよい。スピーチは、[A]内容を決定し、[B]構成となるようにする。ま	ぞれ一つずつ選べ。答の番号20 でれ一つずつ選べ。答の番号20 から、 B はⅡ群(カ)・(キ)から、 C はⅢ群(サ)・(シ)からそれ A 〜 C に入る最も適当な表現を、 A は後のⅠ群(ア)・(イ)の スピーチ をするときの一般的な注意点について説明した次の文章中の	として語っ	(エ) 急速な近代化で落ち着きを失った日本人が、自分の存在を確固たるもの(ウ) いきなりの近代化に驚き慌てた日本人が、物語の展開を通して自分をつ書くのではなく、物語の内容に応じて自分を確固たるものにしようとした	(イ) 唐突な近代化に歓喜した日本人が、自分という存在を自明なものとしてのではなく、物語の展開を介して自分という存在を確かなものにしようとした(ア) 突然の近代化で平静さを欠いた日本人が、自分を自明な存在として捉える	選べ。答の番号19 (E) 会話文中の Z に入る最も適当な表現を、次の (ア)~(エ) から一つ	し、初めと終わりの三字を書け。	○ (つ) (一) (一) (立) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三) (三

(10)

	<u>–</u>															_	_	,		問
		1)		(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	([(4)	(3)	(2)	(1)	問題番号
	=		Θ	(1.5)	()					,		(- /	(, ,		Θ	()	,	(-/	(, ,	—
[20]	[19]	【18】	[17]	[16]	[15]	【14】	[13]	【12】	【11】	【10】	[9]	[8]	[7]	[6]	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]	番答 号の
I							I					I	I							
7	ア	ļ	ļ 	ア	ア	性	ア	ア	1	ア		ア	ア	ア		\smile	ア	ア		答
1							1					1	1			↓				
I	1			1	1		ゥ	1	2	1		ウ	ウ	1			1	1		
カ		\$	\$				I					I	I			\downarrow				の
#	ゥ			ウ	ゥ		ー カ	ゥ	3	ゥ		ー カ	カ	ゥ			ゥ	ウ	ア	
Ш							,, ,					,, +	,, +			\downarrow			1	
サ	ェ			ェ	ェ		ク	ェ	4	ェ		ク	ク	ェ			ェ	ェ	ゥ	欄
シ							ケ					ケ	ケ			<u> </u>			エ	
[20]	[19]	[18]	[17]	[16]	【15】	[14]	[13]	[12]	[11]	[10]	[9]	[8]	[7]	[6]	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]	
																				採点欄
																				欄
																				,

 検
 查

 1
 受付番号

 4
 点

						_	_									_	_			問
	(1 (1)	1)	Θ	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5	5)	(4)	(3)	(2)	(1)	問題番号
[20]	[19]	[18]	[17]	[16]	[15]	[14]	[13]	[12]	[11]	[10]	[9]	[8]	[7]	[6]	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]	番答号の
I D	7	次第に~くもの	社会環~うもの	H		性質	I D	(E)	3	•	とくしゅ	I D	I D	(H)	許しつかはすべきなり	(ウ)→(エ)→(ア)→(イ)	3	•	に わ か に	答の欄
[20]	[19]	[18]	[17]	[16]	[15]	[14]	[13]	[12]	[11]	[10]	[9]	[8]	[7]	[6]	[5]	[4]	[3]	[2]	[1]	
完全解答							完全解答						完全解答			完全解答				備考欄
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	答 2	2	2	2	2	2	2	答 2	配点